

議 事 録

会議名	令和4年度第1回寒川町生活支援・介護予防サービス基盤整備推進会議		
開催日時	令和5年3月23日(木曜日) 10:00～11:30		
開催場所	寒川町健康管理センター2階会議室		
出席者名、欠席者名及び傍聴者数	<p>出席委員：三澤委員、小西委員、小黒委員、中間委員、古谷委員、稲葉委員、佐藤委員、山口委員、高宮委員、福原委員（10名）</p> <p>欠席委員：なし</p> <p>事務局：浅野生活支援コーディネーター 三橋高齢介護課長 秋庭副主幹 北野主任主事</p> <p>傍聴者数：なし</p>		
議 題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生活支援コーディネーター活動報告</li> <li>2. 生活支援・介護予防サービスについて</li> <li>3. その他</li> </ol>		
決定事項	<p>新年度では、基盤整備について改めて具体的な目標を立て、生活支援コーディネーターの取り組みに繋げていくことを確認した。</p>		
公開又は非公開の別	公開	非公開の場合その理由（一部非公開の場合を含む）	
議事の経過	<p>&lt;議事前段の進行&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○委員、事務局自己紹介</li> <li>○委員長挨拶 三澤委員長</li> <li>○議事録承認委員確認 佐藤委員、山口委員</li> <li>○高齢介護課長挨拶</li> <li>○委嘱状交付 三橋高齢介護課長より、就任委員へ委嘱状の交付</li> </ul> <p>&lt;ここから議事&gt;</p> <p><b>議題1 生活支援コーディネーター活動報告</b></p>		

浅野生活支援コーディネーター（以下「Co」と表記）：【資料3を用いて、活動について報告】

三澤委員長：このことについて、何か意見や質問などはあるか。様々な団体の代表者が集まっているので、報告にあった活動にも関わりがあるものと思われる。

山口委員：閉院となったクリニックの前で子どもたちの見守りをしており、そこに集いお話をするグループがあることを知った。民生委員の立場で協力したいとちょうど話をしてきたところ。

三澤委員長：今まで分担してやってきたことが包括的に行われている。委員の皆さまにも地域ごとに誘いがかかっているところなどを指摘していただき、町全体として見ていけると良い。

中間副委員長：シニアクラブと町内中学生との世代間交流会が開催された。楽しく交流することが出来た。家で閉じこもっている高齢者がいれば孫からこんなことがあったと声掛けしてもらえたら。他方、生活困窮世帯との関わりもあった。子どもたち向けの講師。茅ヶ崎市の法人で事業が行なわれている。福祉関係の専門学校に進学する子などが出てきているそう。取り組みがPR出来たらいい。

三澤委員長：子ども食堂もPRしてほしい。ゆくゆくは福祉の専門学校に通うような若い人材が介護業界に入って来てほしい。なかなか介護に回ってこないというのは課題としてある。

## 議題2 生活支援・介護予防サービスについて

浅野Co：【追加資料を用いて、生活支援・介護予防サービスについて説明】

三澤委員長：このことについて、何か意見や質問などはあるか。

佐藤委員：サポートさむかわには、包括として関わっていくな

かで、介護保険制度として対応出来ないところなど行き場のない相談をお願いすることがある。

三澤委員長：費用面では1時間300円と介護保険サービスと同様、それでも高額な場合もある。子ども食堂でも100円でもどうかと思うこともあるが、なくてはならないサービス。ボランティア団体ではどうか。

小黒委員：フードバンクに日本語が話せない外国人の方が来る。自分で支援を受けられるように、公園マップを活用してお話をしながら自然と言葉を覚えて頂けないかとボランティアとして取り組むなどしている。

三澤委員長：県のポータルサイトなどでは複数の言語に対応しているものもある。

稲葉委員：4年度は体操などを行ってきているがいつまでやるのか、今年度の本会議が1度のみ。5年度において何をやるのか、その結果がいつ出るのかをやらなくては。本当に生活基盤に求められているのは体操なのか、社会に役立つ生きがいつくりや社会貢献など元気な高齢者が出来ることはないのか、やりましようというものを作っていくかなくてはいけない。今年何を取り組んでいかなくてはならないかを皆様にしっかりお聞きして、今年度取り組んでいかなくてはいけない。寒川町でやっていくこととは体操ではないと思う。

三澤委員長：5年度はどの方向でいくのかは早めに決めるべき。Coに役割が集中してしまう。

浅野Co：公園での体操は、音出しや声掛けをしているが、集まった方で自主的な活動に持っていくようにしていきたいが、もう一息のところ。

稲葉委員：ちょっとした作業で年金プラス収入が得られるような場が町内にあれば高齢者が生き生きと暮らせるのではと話していたことがある。他の方が見たときに健康づくりのために

体操しているというよりも、社会貢献しているという方が取り組みに意味があるのではないか。

小黒委員：ご自分から外に出る一歩がなかなかでない方もいる。

小西委員：定年退職後にも対価のある仕事があれば生きがいに繋がって外に出ていく。そのような環境、高齢になっても社会貢献出来る場を作れると良い。Coが多くの活動をしていただき、地域で体操するなどの環境づくりを主導してきているが、今年度は自主的な活動に移行する年にするなど計画していく時ではないか。生活支援サービスについては介護保険が入った当初は独居如何に関わらず援助出来たが途中で切り離された。必要な人に必要な支援を精査して区切ったうえで助けていくべき。自分の子どもたちに面倒をみてもらう世代でなくなってきている。地域で支える基盤づくりを。

中間委員：本会議は介護予防と生活支援で基盤整備。介護予防は各種事業が既にある。生活支援とは町では何を行うのか整理していかなければならない。重点を絞っていかないと生活支援は寒川町としてどんなことをやっているのか見えてこない。新年度では何をすべきか話し合っ作り上げていく必要がある。

#### ○その他

事務局：事務局として補足。公園マップを活用した体操の実施は、介護予防の観点もあるが、地域ごとに自主的に集うことで、地域の繋がりづくり、言葉通り基盤整備が本来の主旨。今後の方向性も含めご意見を伺いたい。また、本来、本会議は年3回程度開催予定。新年度はご意見のとおり目標を定め実行していく。最後に福原委員が任期満了につき、一言頂戴したい。

福原委員：一番はケアシステムを作りたいというのが夢。それはボランティアだけでなく民間を巻き込んで町ぐるみでどうしていくかをやっていきたいと思っている。

(閉会)

	副委員長挨拶 中間委員
配付資料	配布資料 資料1 寒川町生活支援・介護予防サービス基盤整備推進会議委員名簿 資料2 寒川町生活支援・介護予防サービス基盤整備推進会議設置要綱 資料3 生活支援コーディネーター活動報告
議事録承認委員及び 議事録確定年月日	佐藤 敬、山口 幸子（令和5年4月26日確定）